

とよた市議会 だより

6月市議会
定例会号
平成24年7月15日

ファイルNo.
111

企業誘致推進条例の一部を改正

市内企業への支援を充実させ、市外流出を防ぎます

地域医療センターに新たな健診システムを導入

みなさんの健康づくりをサポートします



ピックアップ
TOPICS
トピックス

老人福祉センターめぐもりの里 (旭地区)

デイサービスで五平餅づくり

福祉センター条例等を改正して、利用時間の見直しを行い、在宅介護の支援・介護サービスの充実をはかります。

●トップインフォメーション

議員の仕事 ～定例会編～ ②

●議案説明・討論

条例改正・工事請負契約など ④

●議案審議結果 ⑤

●常任委員会 付託案件・陳情を審査 ⑥

市政について問う!

●一般質問 22人の議員が質問 ⑧

●トピックス
市議会傍聴、勤続表彰 ⑫

議員の仕事

6月 June

定例会編

※定例会とは年に4回(3・6・9・12月)開催される本会議です。

市民のみなさんの代表として、よりよいまちづくりを実現するために、さまざまな活動を行う豊田市議会。しかし、その活動をなかなか知る機会も少ないと思います。そこで、知っているようで意外と知らない議員の仕事をご紹介します！



議会運営委員会
定例会で審議される議案や、会期の日程について話し合います。

開会・議案説明
定例会の会期日程を決定し、市が提案する議案の説明を受けます。 ※P4参照



委員会審査
各委員会にわかれ、議案の中身を細かく話し合います。各議員は、所属以外の委員会を傍聴するなど、閉会日の採決に備え理解を深めます。 ※P6～7参照



予算に関する議案は、この委員会では集中審査します。各分科会において話し合われた内容の報告を受け、意見を交わします。また、各議案に対する賛否を、多数決によって決めます。 ※P7参照



議員は、その他にも、地域・職域・各種団体の会合や行事に参加するなど、市民のみなさんとの交流を通して、地域や市政に関する課題を見つけ、その解決に向けて、積極的に取り組んでいます。また、他自治体の視察や研修への参加を通じて市政への提言を行います。



Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
☆	☆	☆	☆	☆	1 議会運営委員会	2
3	4	5	6	7	8 本会議 (開会、議案上程、説明)	9
10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問、議案質疑、委員会付託) 予算決算委員会	14 産業建設 委員会	15 環境福祉 委員会	16
17	18 教育次世代 委員会	19 生活社会 委員会	20 企画総務 委員会	21 議事整理日	22 予算決算委員会	23
24	25 本会議 (委員長報告、討論、採決、同意、閉会)	26	27	28	29	30

定例会での議論を深めるため、審議される議案について調査をしたり、市の職員からの説明を受けるなどの準備をします。

一般質問
市政全般について質問をして、事務の執行状況や市の考え方などを確認します。 ※P8～11参照



議案質疑・委員会付託
議案に対する質問をします。また、さらに細かく話し合うための担当委員会を決めます。



討論・採決・閉会
各委員会での話し合いの結果を報告し、意見を交わします。最終的に、各議案に対する賛否を、多数決によって決めます。 ※P4～5参照



会派(主義、主張を同じくする議員によって作られたグループ)等は、各委員会審査の様子をもとに各議案などに対する考え方、賛否等について話し合います。



条例の一部改正、工事請負契約など18議案を議決

主な案件名	内 容
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">条例の一部改正</p> <p>【第79号】 新婚者住宅条例の一部改正条例</p>	<p>若者が魅力を感じるまちづくりの一環として、新婚者用に建てられた「すまいる聖心」の申込み条件や入居期間、家賃等を見直します。新婚者向けに、より魅力的な住宅を提供していきます。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工事請負契約</p> <p>【第82号】 松平こども園園舎新築工事</p>	<p>園舎の老朽化が進んでいる松平こども園を移転・新築します。これにより、保育環境が向上し、また、定員の拡大及び乳児の受入れを開始することで待機児童の解消を目指します。</p>

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が意見を述べ、賛同を求めました※発言順に記載

自民クラブ 神谷和利

議案第74号は、公益法人への人的支援という趣旨や派遣職員の役割に変化がなく、市職員の引き揚げ方針や将来計画に影響がないことが確認できた。「株式会社とよた山里ホールディングス」への職員の派遣が、経営効率化や地域振興への寄与という、設立目的の達成につながることを期待し、賛成。

議案第78号は、再投資奨励金を活用することによって、市内企業の設備投資が進み、企業の生産力の向上、雇用の維持・確保、企業の新しい分野の参入や新技術の創出につながることを期待し、賛成。

市民フォーラム 山野辺秋夫

議案第76号は、土橋駅駐輪場の計画的な整備が、放置自転車を減らす目的であること、警備員の巡回や防犯カメラの設置により盗難防止や犯罪抑止に取り組まれていることが確認できた。今後のさらなる取組に期待し、賛成。

議案第83号は、工事に携わるすべての職種で公共工事設計労務単価を上回る賃金水準が提案されていたこと、新規雇用の現場事務所2名の賃金総額が他の入札者よりも大きいこと及び下請業者との協定書案等の提案内容が実際に履行されたことが容易に確認できることがわかった。今後の適正な契約の推進に期待し、賛成。

公明党 佐藤恵子

議案第79号は、新婚者の居住に関する条件を緩和することで、当初の目的である新婚者に低家賃で住宅を提供し、豊田市への定住促進が図られる改正であると評価し、賛成。

議案第86号は、各種医療システムの更新によって、診察時間が短縮されるようになったほか、画像を見ながら説明をうけられるようになることで、わかりやすい健診結果の提供につながるなど、これまでの電子化へ向けた環境整備が医療の安全向上や市民の健康管理に寄与できるものであると評価し、賛成。

諸 派 大村義則

議案第77号は、実態に合わせてつづ時間を延長することが、介護デイサービス施設の機能回復訓練の充実につながることから、賛成。

議案第91号は、給食センターから排出された缶詰などの金属ごみや食材を梱包していた廃プラスチックなどの産業廃棄物の処理を、実際に給食センターの業務を行っている東部スクールランチサービス株式会社に変更することが、「産業廃棄物の処理は業務を行っている当事者の責任を明確にする必要がある」という国の指導方向に沿うものであるため、賛成。

諸 派 岡田耕一

議案第78号は、本市の再投資奨励金の「交付割合が10%であり、重点産業分野では20%」「上限額が10億円」「市内全域の立地を対象」という3点セットであることが、近隣自治体の制度と比較して優位性があることを評価するとともに、今後、航空宇宙関連分野を重点産業分野に追加することを期待し、賛成。

議案第84号および85号は、備品購入の際、地域の経済循環と既存備品の最大限の有効活用を考慮していることが確認できた。今回の取得を契機に今後、事務の効率化及び市民満足度が向上することを期待し、賛成。

諸 派 青山さとし

議案第79号は、今後、市民ニーズに合った対策と思い切った決断が必要だが、入居要件の緩和等の周知をしっかりと実施していくことで新婚者住宅の空き状況の改善が図られることを期待し、賛成。

議案第82号は、松平こども園の園舎新築工事によって発生する残土を、今後建設予定の寺部こども園・寺部小学校の造成工事に活用し、残土処理費用を削減できることが確認でき、評価する。現在の園舎の活用については松平地区や地域住民にとって有効で意義ある活用がされることを期待し、賛成。



議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 <small>※自民クラブは議長を除く</small>																
			自民クラブ 28名		市民フォーラム 9名		公明党 4名		諸派 4名										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
◆議案																			
第74号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例	原案可決	28	0	9	0	4	0	4	0									
75	市税条例の一部改正条例	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
76	自転車等放置防止条例の一部改正条例	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
77	老人福祉センター条例等の一部改正条例	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
78	企業誘致推進条例の一部改正条例	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
79	新婚者住宅条例の一部改正条例	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
80	火災予防条例の一部改正条例	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
81	平成24年度一般会計補正予算	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
82	工事請負契約の締結(市立松平こども園園舎新築工事)	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
83	// (寺部土地区画整理事業2号調整池築造工事)	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
84	財産の取得(市役所新東庁舎用備品(その1))	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
85	// (市役所新東庁舎用備品(その2))	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
86	// (豊田地域医療センター健診システム)	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
87	// (高規格救急自動車)	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
88	// (救助工作車)	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
89	// (消防ポンプ自動車)	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
90	逢妻衛生処理組合理約の変更に関する協議	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
91	特定事業契約の変更(東部給食センター改築整備運営事業)	//	28	0	9	0	4	0	4	0									
◆同意																			
第4号	人権擁護委員の推薦(再任:岩月桂子氏、新任:加藤俊明氏、小瀬垣五十鈴氏、能見晴美氏、平野敬一氏、松井利王氏)	同意	28	0	9	0	4	0	4	0									
◆報告																			
第6号	専決処分の報告(損害賠償額の決定6件)																		
7	継続費等の報告(継続費、繰越明計費)																		
◆陳情																			
第2号	最低賃金の引き上げ、公契約条例の制定など働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書																		



6月13日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

産業建設

委員会

6月14日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第78号】 豊田市企業誘致推進条例の一部を改正する条例

質問 再投資奨励金の交付要件で対象業種が次世代成長分野及び集積業種となっているが、その理由は何か。また、県の産業空洞化対策減税基金に基づく補助制度を活用するということだが、その補助額の配分はあるのか。

答弁 対象業種については、県と市が連携して企業支援をするという趣旨であることから、県の規定に準じている。

また、本市も含め各市への補助額配分にかかる上限額はないと県に確認している。

【第79号】 豊田市新婚者住宅条例の一部を改正する条例

質問 申し込み資格を婚姻後1年を経過していない者及び婚約中で1年以内に婚姻予定の者にしたこと、入居期間を5年とした理由はそれぞれどのようなか。

答弁 結婚を考えたから結婚式までの期間が10か月以上という民間の統計結果から1年以内に婚姻予定の者とし、入居期間については民間賃貸住宅の平均居住年数が4年から6年が最も多いということで5年とした。



環境福祉

委員会

6月15日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第77号】 豊田市老人福祉センター条例等の一部を改正する条例

質問 今回の条例改正によるメリットとデメリットは何があるのか。

答弁 時間の延長に伴うメリットとしては、家族介護の負担軽減と、機能回復訓練の充実が図れること。デメリットとしては、時間延長により利用料金の負担が増えることや、一時的に利用者の生活リズムが変わることが挙げられる。

なお、デメリットと思われる点については、利用者や家族に説明を行い、理解を得ている。



【第86号】 財産の取得
(豊田地域医療センター健診システム)

質問 現在のシステムと比較して、システム機器の変更により、健診結果通知等で利用者への影響があるのか。

答弁 結果通知書の変更については、現行システムに保存されているおよそ20年分の健診データをすべて新システムに移行することができるので、今までと同様に、健診結果の経年比較は可能である。また、システム更新の改善ポイントの1つに、「分かりやすい健診結果の提供」を掲げており、意識して取り組んでいく。

教育次世代

委員会

6月18日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第82号】 工事請負契約の締結
(豊田市立松平こども園園舎新築工事)

質問 屋上に設置されるプールの安全面への配慮はどのようなか。また、太陽光発電で発電した電力でどの程度こども園の電力をまかなえるのか。

答弁 屋上のプールは、強化プラスチック製であり、1階の屋根部分に載せる設計である。選定時には、安全面でも実績のあるものを選定する。最近新築した益富、宮口、畝部こども園でも同様に屋上にプールを設置しており、安全面で問題はないと考えている。太陽光発電については、出力40キロワットのものを計画しており、園舎の照明器具などに必要な電力量の約8割程度をまかなえると見込んでいる。

【第91号】 特定事業契約の変更
(豊田市東部給食センター改築整備運営事業)

質問 契約金額が約9,700万円増額するが、その内訳はどうか。また、調理業務に伴う主な産業廃棄物とその量の見込みはどのようなか。

答弁 廃プラスチック類の収集運搬費と処分費が増額する契約金額全体の約9割を占めている。主な産業廃棄物としては、食材を包んでいるビニールなどの廃プラスチック類が年間約25トン、空き缶などの金属くずが年間約3トンと見込んでいる。



委員会

生活社会 委員会

6月19日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情を1件を報告しました。

【第76号】 豊田市自転車等放置防止条例の一部を改正する条例

質問 今後の駐輪場の収容台数不足に対する考え方はどのようなか。また、自転車盗難被害の多い駐輪場へ試験的に設置された防犯カメラの効果検証について、どのように考えているのか。

答弁 土地区画整理事業やバイパス整備事業にかかるとは、今回の駐輪場整備方法と同様、必要数を予測して駐輪場を整備していき、そうした開発事業にかからない場合においては、2段式ラック方式への変更や駐輪場用地の取得、または借地の可能性などを検討していく。

また、防犯カメラの効果検証については、カメラが試験的に設置されている市内の駐輪場での盗難件数の推移から、防犯カメラの設置による盗難抑止効果は高いと考えている。

【第88号】 財産の取得
(救助工作車)

質問 救助工作車の更新基準年数が17年であるのに対し、今回更新する中消防署の救助工作車の使用年数は、今年度で16年目とのことであるが、使用年数が更新基準年数を満たしていない状況の中、今回更新する理由はなにか。

答弁 ディーゼル車などに適用される排ガス規制、自動車NOx・PM法により、平成25年3月の車検が通らないためである。

企画総務 委員会

6月20日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第74号】 豊田市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

質問 公益認定を受けた団体に対し、何らかの評価をしていくのか。

答弁 これまでは、協会公社運営評価専門部会を立ち上げて評価をしており、平成19年度からは名称を運営調整委員会と変更し、一定の出資比率のある協会公社について、評価・点検・経営方針の確認などを行ってきた。公益認定を取得した団体についても、公益的な事業を推進するという協会公社の役割に変更はないため、引き続き経営状況の評価をしていく。

【第84号】 財産の取得
【第85号】 (豊田市役所新東庁舎用備品)

質問 今回の備品購入を2件の契約に分けた理由は

答弁 効率的な備品搬入作業の実施やメーカーの不統一を避けるために一括発注も検討したが、地元企業の入札参加機会を確保し、地元経済の活性化を考慮した結果、事務室部分と共用部分の2つの契約となった。



予算決算 委員会

6月13日から22日にかけて、付託された補正予算1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第81号】 平成24年度豊田市一般会計補正予算

予算決算委員会とは

本市議会では、議長を除く全議員(45人)で予算決算委員会を組織し、予算や決算の審査をしています。年度途中で予算を変更する『補正予算』の審査のほか、3月、9月の定例会においては、『次年度の当初予算』や『前年度の決算』について審査をします。当初予算、決算の各審査にあたっては、2日間にわたって市の各部局から詳細な説明を受け(下図①)、議案に対する質疑をします(②)。さらに、中身を5つの分科会に分け、5日間にわたりより細かく審査をします(③)。その審査過程を委員会で報告、意見交換をした後、各議案に対する賛否を多数決によって決めます(④)。

本会議において予算・決算関係議案を
予算決算委員会で審査するよう付託

① 予算決算委員会(説明会)【2日間】

② 予算決算委員会
(質疑・分科会審査案件の決定)【1日間】

③ 予算決算委員会・各分科会
(分科会審査)【各1日間のべ5日間】

④ 予算決算委員会
(分科会審査報告・意見・採決)【1日間】

本会議において予算決算委員会の
審査を報告



6月11日から13日にかけて、22人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する9月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

近藤光良

自民クラブ

- (仮)「第2次豊田市健康づくり計画」の策定
- 東日本大震災がれき処理支援
- 本市のめざす環境モデル都市像

質問 本市が目指す環境モデル都市像

これから本市が目指す環境モデル都市はどのようなものか。そのために行政として何を重点に進めるか。また、私たち市民が積極的にかかわっていくには、どのような施策が必要か。

答弁 市長

平成20年12月に改訂した環境基本計画のなかで示した、環境政策の柱の一つである「低炭素社会」を、いかに無理をせずに実現するかがポイントとなる。この方向性を市民、企業、行政が共有することが大切であり、そのためにも5月18日にオープンした情報発信拠点である「とよたエコフルタウン」を環境モデル都市の取組のシンボルとして位置づけ、十二分に活用していきたい。

河合芳弘

自民クラブ

- 通学路における安全対策
- 地域スポーツクラブの育成・推進
- 職員の人材育成

質問 地域スポーツクラブの継続的な自立運営に資する財源確保策

地域スポーツクラブは、豊田市まちづくり基本条例に定める「自立した地域社会の実現」を担う組織だが、自立運営には財源確保が大きな課題。そのため、どのような施策を考えているか。



答弁 教育行政部

平成24年4月から補助制度を見直した。新補助制度の主なものは、クラブ設立1年前を対象とした設立準備事業補助金、設立後5年間を対象とした管理運営事業補助金、設立6年目以降を対象とした事業補助金の3つ。この補助制度を活用することで、財源を確保するとともに指導者を育成し、スポーツクラブの事業継続と自立運営を図っていく。

山内健二

市民フォーラム

- 組織の再構築、組織改革

質問 「(仮称)理財部」の設置提言

現在、人事権と財政面の権限を総務部、市民税や資産税などを市民部に置いているが、厳しい財政状況が想定されるなかで、予算編成を統括する「(仮称)理財部」を設置すべきと思うが、本市の考えは。

答弁 総務部

現在の組織体制は有効に機能していると評価しているが、歳入の確保と歳出の最適化を図るために総合的、戦略的に考えることができる体制は必要と認識している。今後、現状の組織を様々な視点から十分に検証した上で、まちづくりに向けて最適な組織体制の構築を進めていきたいと考えている。その過程で理財分野についても検討していく。

根本美春

諸派

- 交通権の保障として、移動支援の充実を
- 防災対策のさらなる充実を
- 子育て家庭に相談・支援の充実を

質問 鉄道駅におけるエレベーター設置の必要性

本市は地域バス、基幹バスの運行を増やし、鉄道利用を促してきたが、エレベーターのない愛知環状鉄道の駅では、長い階段が上れないという声を聞く。この声にどうこたえるか。

答弁 都市整備部

平成23年3月告示の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」で、駅の利用者が1日3,000人を超えれば、エレベーターを設置するように改められた。本市としても、すべての駅がバリアフリー化されることが望ましいと考えている。引き続き、より一層の利用促進を図り、1日あたり3,000人の利用要件を満たせば、鉄道事業者エレベーター設置を働きかけていきたい。

桜井秀樹

市民フォーラム

- 豊田市のごみ処分の対応

質問 過去の風評被害の対応と環境調査について

東日本大震災で処理が滞っている安全ながれきを豊田市として試験焼却する上で、風評被害が心配されるが、過去に発生したダイオキシン問題で、風評被害を防ぐためにどのように対応したのか。また、今後のがれき受け入れを想定して、渡刈クリーンセンター周辺環境の先行調査を実施する考えは。

答弁 産業部・環境部

ダイオキシン問題が発生した当時は、市長をトップに体制を整え、迅速に客観的データの収集と把握を行った。その結果、農作物への影響はほとんど無いと判断。市長自らが関係者に説明し、事態の收拾を図った。また、焼却施設周辺の大気モニタリングなどの環境調査は、具体的ながれきの受け入れを検討する段階で実施予定。

鈴木章

自民クラブ

- 豊田市水道ビジョンの進捗と課題

質問 計画と目標値見直しの必要性

本市の水道ビジョンの計画と目標値は、「達成可能な範囲」に定められているのではないかと感じる。市民サービス向上のためには、よりハードルの高い目標値を設定する必要があると感じるが、どう認識しているか。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

答 弁 上下水道局

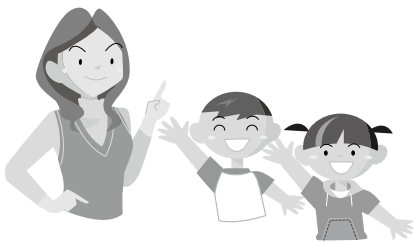
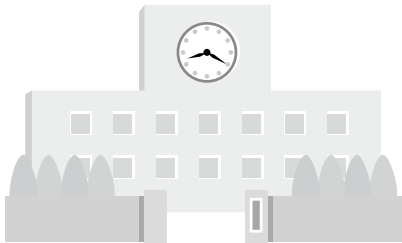
本市水道ビジョンは平成19年に策定し、5年が経過した。この間、社会情勢の変化、東日本大震災の発生によって、危機管理など新たな視点からの取組が求められている。そこで、国が示す新水道ビジョンの視点を参考に、平成25年度から本市水道ビジョンの見直しを行うとともに、計画と目標値も国の視点を参考に見直す。

太田博康 自民クラブ

●地域共働の学校づくり

質 問 「地域共働型学校づくり」の将来像と既存校への展開

平成22年度から浄水地区で実施している「地域共働型学校づくり」は、住民と行政が一緒になって作っていくとする非常に大切な取組だ。そこで、その将来像と既存校への展開についてお聞きしたい。



答 弁 教育行政部

地域活動の拠点である交流館が、学校と地域住民の架け橋となることで、人と人がつながる自立した地域社会を実現することが、目指すべき将来像。これを、「(仮称)学びのコミュニティ」と名付け、実現に向けてさまざまな検討を進めている。既存校への展開については、モデルである浄水地区の取組を検証した上で、拡大していきたい。

大村義則 諸派

- 電力需給と節電、エネルギー対策
- 青年の就職難対策
- 中学生の「部活」のあり方

質 問 本市の「地域新エネルギービジョン」の現状について

経済産業省は太陽光、風力、小水力などの自然エネルギーをはじめとした新エネルギー導入に関する地域ビジョン策定を推進しているが、本市の「地域新エネルギービジョン」はどうなっているか。再生可能・自然エネルギーの利活用促進計画を策定する考えは。

答 弁 総合企画部

旧稲武町が平成15年に「地域新エネルギービジョン」を策定。それに基づき、風力発電を設置し、平成17年2月に運転が開始されている。一方、合併後の豊田市全体を対象としたエネルギーの総合施策はない。今年度、再生可能エネルギーに関する総合的な指針を検討していく。

清水郁夫 自民クラブ

- 公共建築物のあり方
- エコポイントの検証

質 問 とよたエコポイントの今後の取組

本市は、エコ商品の購入や公共交通機関の利用などで付与されてきたエコポイントを、リサイクルステーションでも付与できるようになった。今後、とよたエコポイントの取組をどのように拡大していくのか。

答 弁 環境部

現在、エコポイント発行の大半を市が担っているが、今後は企業が従業員や市民に対してポイント発行できるメニューの追加を働きかけていく。また、旧町村エリアでは商品券などの交換を開始しているが、発行や還元メニューを拡大して、商店街・地域の活性化につながる仕組みを検討していきたい。

古木吉昭 市民フォーラム

- まちづくり基本条例戦略プラン
- 防災への取組

質 問 部門内の人事権の強化

今後、業務命令方式をルール化することによって、業務繁忙期の平準化を目標に掲げているが、これまでの部門内の人事権の強化についてどのようなことに取り組んできたか。また、今後どのように進めるのか。

答 弁 総務部

部門内の人事権強化は、部門内における職員定数を弾力的に調整できることを目的としている。これまで、臨時職員配置の予算配分や、大規模事業において他課の職員が応援として業務に従事するなどした。今後は、同一部門内の他課に短期異動ができるような「業務命令」を行使できる仕組みをつくり、各部門に有効活用していきたい。

深津真一 自民クラブ

- 市民生活の向上に向けて
- 少子化対策と子育て環境の充実

質 問 結婚推進に向けての市の役割

結婚支援の推進は本市の少子化対策につながるとともに、若い市民が充実した生活を実現するための課題。そのため社会全体で取り組む気運を高めていく必要があるが、市はどのような役割を果たしていくことができるのか。

答 弁 子ども部

引き続き出会いの場を提供するとともに、若者が人生設計やコミュニケーション能力を学ぶ機会を提供するなどを検討。若者の現状を市民に伝え、市民・団体が取組について考えるように働きかけ、支援をする市民・団体のネットワーク化を進めることで、社会全体で結婚支援に取り組む環境づくりを進めていく。



※質問順に掲載しています。

岡田 耕一

諸 派

●被災地支援に関する本市の対応

質 問 災害廃棄物処理に関して、本市で受け入れる必要性の認識

平成24年5月21日の環境省の発表によると、本市で受け入れる可能性のある可燃性廃棄物は、当初の想定より大幅に減少している。災害廃棄物を本市で受け入れる必要性をどのように認識しているか。

答 弁

環 境 部

がれきの受け入れは市民の理解を得ることが前提であり、風評被害が県内の広範囲に及ぶことから、本市単独では判断できない。県の統一基準が策定された後、県内自治体が統一した考えのもとに判断する必要がある。あわせて、国が発表した災害廃棄物推計量の見直し結果を踏まえ、広域処理の必要性も情報収集し、検討する。

鎌田ひとみ

公 明 党

●こころと体の健康

質 問 胃がん検診にABCリスク検診の導入

胃がんによって毎年約5万人が死亡している。がんの発生と深い関わりがあるとされているピロリ菌感染と胃の粘膜の萎縮を、血液によって調べるABCリスク検診導入の考えは。



答 弁

福 祉 保 健 部

本市のがん健診は、平成20年3月に国から示された「がん予防重点健康教育及びがん健診実施のための指針」に基づいて実施している。これによると、胃がん検診は問診と胃部X線検査となっており、ABCリスク検診は含まれていないため、現在のところ、導入の予定はない。しかし、今後、健診の有用性や他の自治体の導入状況など情報収集していきたい。

原 田 勇 司

自 民 ク ラ ブ

- 防災対策
- スポーツ振興

質 問 スポーツ施設整備の後期実践計画への取組

平成25年度から5年間の実施期間となる後期実践計画が今年度策定されるが、第2次生涯スポーツプランに掲載されている2つの体育館(挙母南部地域・松平地域)の整備事業の後期実践計画への取組は。

答 弁

教 育 行 政 部

第2次生涯スポーツプランに示した2つの体育館建設事業は、プランが計画されて以来、対象地区の住民が心待ちにされていると聞いている。本市としても、プランの目標達成、計画実現に向けて必要な事業と考えている。地域体育館の後期実践計画への位置付けについては、今後の財政計画を踏まえ、市全体の事業の優先順位を整理する中で、引き続き検討していく。

木 本 文 也

自 民 ク ラ ブ

- 男女共同参画推進における子育て支援
- 文化行政

質 問 ワーク・ライフ・バランスを配慮した企業支援策

企業の子育て支援は重要である。事業所内託児所の新設や育児休業制度の履行などに対して企業支援を行っている自治体がある。本市の状況と、ワーク・ライフ・バランス(育児支援)推進に関する企業支援の考えは。

答 弁

産 業 部

現在、企業のワーク・ライフ・バランス推進に関する市独自の経済的支援は行っていない。今後は、産業支援策の検討に関する企業訪問などの機会をとらえ、企業の意見や課題などの把握に努め、本市の企業にとって効果的な支援策や、ワーク・ライフ・バランス策導入に前向きな企業の誘致について、調査・研究をしていきたい。

作 元 志 津 夫

市 民 フォー ラ ム

●豊田市の持続可能な力強い農業への取組

質 問 多様な担い手の育成など持続可能な中山間地域の農業

高齢化や過疎化が進む中山間地域の持続可能な農業にとって、多様な担い手の育成は喫緊の課題。今後、農ライフ創生センターを有効に活用していくことが必要と感じるが、市の考えは。

答 弁

市 長

集落自らが将来を予測し、農地の活用方法や担い手づくりを進める集落営農の組織化を支援するほか、地域の農産物を活用して、所得向上を図る農商工連携や6次産業化の取組を支援していく。また、現在、旭地区で農ライフ創生センターの研修の準備を進めており、それが新規就農者や生きがい型農業者、援農者につながることを期待している。

田 代 研

公 明 党

●防災・減災対策

質 問 防災手帳の配布の有無

名前や生年月日、かかりつけの病院や持病、服用中の薬などが記入できる手帳は、防災にも緊急時にも有効。このような防災手帳を全市民に配布した方がいいと思うが、市の考えは。



一般質問

答 弁 社会部

防災手帳と同様の「防災虎の巻」を作成し、イベントや各種セミナー、自主防災会の訓練時などで配布している。新たに防災手帳を作成し、全市民に配布する予定はないが、今年度「防災虎の巻」を改訂する予定であり、効果的に活用してもらえるように、内容や配布方法などを工夫していきたい。

光岡保之

自民クラブ

●ネガティブな環境問題解決に向けて

質 問 八草町豊徳鉱山事案の今後の解決策

措置命令が出された豊徳鉱山の八草町産業廃棄物最終処分場は、現在、野積みされた大量の廃棄物の埋め立てが始められたが、今後の解決策の見通しは。

答 弁 環境部

最終処分場の残余容量を超えて産業廃棄物を受け入れた豊徳鉱山に、措置命令に対して提出させた措置計画を履行させることが基本。履行期限は平成26年12月15日で、措置計画書を検討したところ、履行は可能と判断している。生活環境保全上の支障を生じさせないため、今後、本市は定期的に工事の内容・進捗を厳しく監視・指導するとともに、廃棄物処理法に義務づけられている水質検査も継続して行っていく。

伊井房夫

自民クラブ

- 豊田市消防整備基本計画
- 地域における災害時の対策
- 中山間地域の市街化調整区域における定住促進

質 問 ため池の堤防補強策

愛知県が実施した農業用ため池の調査によると、本市の6か所のため池が耐震不足と報じられた。ため池の堤防の耐震工事に早急に取り組む必要があると思うが、本市の考えは。

答 弁 産業部

6か所のため池の耐震化は緊急課題であるが、それ以外に219か所のため池がある。そのうち、平成16年度に制定された耐震基準を満たしているため池は19か所にすぎない。残りの200か所のため池については、決壊による下流域の住宅や公共施設などへの影響を調査するとともに、優先順位をつけて来年度から耐震調査を行い、堤防補強工事や改修工事を順次行っていく。

青山さとし

諸派

- 豊田市の大気環境
- し尿・浄化槽の処理施設と今後

質 問 なぜ「自排局」を設置しないのか

大気汚染防止法で「一般環境測定局（一般局）」と「自動車排出ガス測定局（自排局）」の二つで常時大気を監視することになっているが、本市の場合、「一般局」は4局設置されているが、「自排局」は設置されていない。なぜか。

答 弁 環境部

本市は平成13年に「豊田市大気測定局適正配置計画」を定めたが、この中で、自動車排出ガス測定結果などから「自排局」の設置は必要ないと判断した。その後も、交通環境の変化に合わせて調査をしているが、著しい自動車排出ガスの影響はないため、現状では「自排局」の設置は必要ないと考えている。

中村孝浩

市民フォーラム

- 待機児童対策5か年計画の進め方

質 問 今後もより一層の民間活力を利用しては

待機児童5か年計画では、市立こども園を中心に待機児童対策を進める予定だが、民間によるこども園の新設など、今後もより一層の民間活力の利用を考えてみてはどうか。

答 弁 子ども部

現在進めている浄水地区における私立こども園の新設においても、社会福祉法人に協力してもらっているほか、今後、私立こども園には民間の柔軟性を生かした分園設置の協力を依頼し、待機児童対策の役割を担ってもらうことを期待している。このように、増大・多様化する保育ニーズに的確に対応していくため、引き続き民間活力を生かしていきたいと考えている。



岩月幸雄

自民クラブ

- 豊田市教育行政計画

質 問 期間限定の審議会における委員交代・公募委員の無作為抽出

教育行政計画審議会で審議委員が交代するという事態に遭遇した。期間限定の審議会の委員が途中で交代するのは不適切ではないか。また、無作為抽出による公募委員の選任について、どう考えるか。

答 弁 教育行政部

期間限定の審議会では、任期満了まで同一委員による審議が望ましいが、充て職は、団体としての意見の集約を期待して選任されることが多いため、委員が交代するケースがある。今後は対応を考えたい。一方、公募委員は年齢層や性別などに偏りがあるという課題が確かにあるため、今後、無作為抽出についても研究していきたい。



朝日丘中学校生徒が 議会を傍聴

●議会を身近に感じるきっかけに●

6月11日、12日の2日間にわたり朝日丘中学校3年生の生徒230人が社会科の授業の一環として6月定例会の傍聴に訪れ、一般質問を熱心に聞いていました。

豊田市議会では、わかりやすく開かれた議会を目指して、議会傍聴や議場見学の受け入れを行っています。



■事前に傍聴時の注意事項の説明を受ける朝日丘中学校の生徒のみなさん

■メモを取りながら熱心に傍聴をされました。

勤続議員表彰

全国市議会議長会定期総会が5月23日に東京で開催され、本市議会の光岡保之議員が勤続25年以上の表彰を受けました。6月定例会の開会に先立ち、6月8日に梅村議長から表彰状が伝達されました。



ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 <http://toyota-shigikai.jp>

「市議会だより」のバックナンバーや詳しい会議録もご覧いただけます。

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

9月市議会定例会の予定

9月市議会定例会は
9月7日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。
本紙から抜き取ってご覧ください。



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています